

クァルテット・アルモニコ 30周年記念コンサート in 帯広



〈出演〉クァルテット・アルモニコ
菅谷早葉、生田絵美(ヴァイオリン)、阪本奈津子(ヴィオラ)、松本卓以(チェロ)

〈曲目〉J.ハイドン：弦楽四重奏曲 第41番 ト長調 Op.33-5
G.リゲティ：弦楽四重奏曲 第2番 (1968)
F.シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 「死と乙女」

2025年 11月29日^土 15:30 開場 / 16:00 開演

六花亭帯広本店 はまなしホール 入場料 4,000円 ^{六花亭} または ^{ポイントカード} 300 ^{ポイント}
(税込・全席自由)

クアルテット・アルモニコ Quartetto Armonico

東京藝術大学の同級生により結成し、2025年結成30周年を迎えた。東京藝術大学大学院、ウィーン音楽大学大学院共に、開学以来初めての弦楽四重奏専攻として在籍し、澤和樹、岡山潔、ヨハネス・マイスル(アルティス弦楽四重奏団)各氏の下で研鑽を積む。

在学時より松尾学術振興財団の助成を受け、国内外の音楽祭や講習会に積極的に参加し、アマデウス弦楽四重奏団やパノハ弦楽四重奏団、モザイク弦楽四重奏団、リゲティ、クルターク各氏など数多くの音楽家、弦楽四重奏団に薫陶を受ける。

藝大大学院修了時の2000年春には、第4回シューベルトと現代音楽国際コンクールにて優勝、併せてベルクの抒情組曲の演奏に対し20世紀音楽最優秀演奏賞を受賞、第8回ロンドン国際弦楽四重奏コンクールにて第2位という快挙を遂げた。その後、文化庁、伊藤謝恩育英財団の助成を受けて4人揃ってウィーンに渡り、弦楽四重奏団としての研鑽を積む傍ら、エクサン・プロヴァンス音楽祭、ハイドンフェスティバル、ブレッド音楽祭、フォアポンメルン音楽祭、またウィーン・コンツェルトハウスやベートーヴェンハレ(ボン)などの演奏会にも数多く出演。

2004年に帰国後は国内外での活動の後、数年の休止期間を経て、2016年より現在のメンバーで活動を再開。

毎年、都内の主要なホールにてQuartetto Armonico定期演奏会を行い、ウィーン古典派、新ウィーン楽派を中心としたレパートリーを軸に国内各地で演奏活動を展開する傍ら、東京藝術大学、同大学附属音楽高等学校、桐朋芸術短期大学、マスタークラスなど、後進の指導にも力を入れている。

<https://quartetto-armonico-tokyo.jimdofree.com/>



菅谷早葉 Sayo Sugaya (ヴァイオリン)

東京藝術大学を経て同大学院修士課程(弦楽四重奏専攻)修了。日本室内楽コンクール(ピアノとのデュオ)第2位入賞。東京藝術大学同声会主催による卒業演奏会出演。これまでに鈴木英男、鈴木愛子、澤和樹、沼田園子の各氏に師事。東京藝術大学管弦楽研究部及び東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。



生田絵美 Emi Ikuta (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校。東京藝術大学を経て同大学院修士課程(弦楽四重奏専攻)修了。在学中に安宅賞受賞。これまでに田丸尚子、東儀幸、矢嶋佳子、大谷康子、浦川宜也、ゲルハルト・ボッセの各氏に師事。東京藝術大学管弦楽研究部及び室内楽科非常勤講師。



阪本奈津子 Natsuko Sakamoto (ヴィオラ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程(弦楽四重奏専攻)修了。97年東京藝術大学同声会主催による卒業演奏会出演。これまでに荻田智子、梅原ひまり、沼田園子、澤和樹の各氏に師事。桐朋学園芸術短期大学及び東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。



松本卓以 Takui Matsumoto (チェロ)

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。在学中に福島賞受賞。藝大定期にてサン＝サーンスのチェロ協奏曲を協演。現在はバロックから現代、タンゴまで精力的に演奏活動を展開している。特に現代音楽の分野では作曲家との共働作業に力を入れており、これまでに450曲を超える初演を行ってきた。Ensemble Contemporary α、アンサンブル東風、小松亮太&オーケスタティピカのメンバー。アンサンブル・ノマドレギュラーゲスト。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師。

内容は予告無く変更となる場合がございます。ご了承ください。

はななしホール

六花亭帯広本店 4 階 帯広市西 2 条南 9 丁目 6

お問い合わせ ☎ 0120-12-6666 (年中無休)

六花亭帯広本店の駐車場はご利用いただけません。ご了承ください。

